第７３回　毎日・茨城杯　茨城県 U14 バスケットボール大会新型コロナウイルス対策ガイドライン

１）はじめに

「**第７３回　毎日・茨城杯　茨城県 U14 バスケットボール大会**新型コロナウイルス対策ガイドライン」(以下、本ガイドライン)は、ＪＢＡ (公益財団法人日本バスケットボール協会)バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第４版」および、茨城県中学校体育連盟が作成する「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」等を参照し、作成しております。なお、今後、状況に応じて、本ガイドラインについても見直すことがあり得ることにご留意ください。

２）基本方針

本ガイドラインの策定にあたっては、以下の項目を基本方針として掲げました。

（１）安全最優先

生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限に排除した、選手・チーム、それらの方のご家族等が安全に活動できる環境を提供します。今大会は無観客での実施とします。

（２）「新しい日常」・「新しい生活様式」への適応

Before コロナの「日常」が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・理解に基づくガイドラインを設計します。

（３）FIBA 再開ガイドライン

FIBA (国際バスケットボール連盟)より再開におけるガイドラインが公開されており、バスケットボール競技の特性を考慮しながら作成します。

（４）不当な扱いや差別などの禁止

感染状況で異なる活動差をもって選手やチームを不当に扱う事はせず、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷を許容しません。

３）　陽性者/濃厚接触者/体調不良者の定義

（１）「陽性者」とは

以下の症状の有無にかかわらず、「PCR 検査・抗原検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」を指します。

～新型コロナウイルス感染症が疑われる症状～

発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など

（２）「濃厚接触者」とは

陽性者の感染可能期間内に接触した者のうち、次の範囲に該当する者を指します。濃厚接触者は陽性者が判明した際に保健所が特定するので、行動履歴の記録は非常に重要です。

①陽性者と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者

②適切な感染防護無しに陽性者を診察、看護若しくは介護していた者

③陽性者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者

④手で触れることの出来る距離(目安として１ m)で、必要な感染予防策なしで、陽性者と１５分以上の接触があった者(周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する)

(３)「体調不良者」とは

以下の目安に該当する方と考えられます。

厚生労働省が発表している以下いずれかの目安に該当する方は、「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。地域によっては医師会や診療所等で相談を受け付けている場合があります。

①息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合

②重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状等がある場合

③比較的軽い風邪が続く。

※発熱症状が出ない感染ケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談してください。

４）感染対策チーム責任者の設置

・参加チームは**感染対策チーム責任者（以下チーム責任者）**を設置してください。

・チーム責任者は、大会への不参加が決定された場合、以下の連絡系統で報告する。

学校長 → 大会委員長（大塚） → 感染対策委員長（鈴木） → 各会場主任

感染対策委員長（鈴木） → 地区感染対策委員

※ 不参加が決定した場合は、即日相手チームに連絡（該当地区感染対策委員より）し、その後の対応を指示する。

・チーム責任者は、大会後にチーム内で陽性者が発生した場合、以下の連絡系統で報告する。

学校長 → 大会委員長（大塚） → 感染対策委員長（鈴木）

感染対策委員長（鈴木） → 管轄保健所

感染対策委員長（鈴木） → 地区感染対策委員 → 同会場の参加校・役員

感染対策委員長（鈴木） → 審判部感染対策責任者 → 同会場の審判員

※ 役員で陽性者が出た場合も同様とする。

※ 大会感染対策責任者（鈴木）は各地区感染対策委員に連絡をし，その後の対応を指示する。

※ 大会感染対策責任者（鈴木）は管轄保健所からの指示について大塚委員長へ報告する。

・チーム責任者は日常のチーム活動において健康チェック、検温を選手やスタッフが行うことを管理し、陽性者や濃厚接触者が発生した際の保健所との情報連携を行う担当となることが求められます。感染してから対応を考えるだけでなく、いかにして陽性者を出さないようにするか対応を行うことが大切です。

・チーム責任者は、大会２週間前にチーム内で体調不良者・濃厚接触者・陽性者が発生した場合は以下の連絡系統で報告し、活動についての指示を受ける。

チーム責任者　→　地区感染対策委員　→　感染対策委員長（鈴木）→　部会長（大塚）

共通理解を図る

5）健康チェック表への記録と管理

・スタッフ、選手等、大会の参加者は、大会が開始される２週間前から「健康チェック表及び参加同意書（個人）」で健康状態を観察・記録する必要があります。チーム責任者は管理を行ってください。

※　会場に入場する選手・スタッフ全員の「健康チェック表及び参加同意書（個人）」をチーム代表者に提出し、「健康チェック表及び参加同意書の提出（提出用）」の提出が必要になります。

※　「健康チェック表」にチェックがつかない場合、当日の体温が 37.5℃を越える場合、体調に少しでも不安がある場合は、該当者の出場を見合わせ、大会感染対策責任者まで御報告ください。

※　御報告頂いた内容・御相談内容を関係者に共有する場合には、必要に応じて個人情報を取り除いた上、共有させて頂きます。

【体温測定、体調チェック】

体温測定：選手、チームスタッフ、審判、関係者、スタッフは必ず毎日実施してください。

6）新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のダウンロードの推奨

・大会参加者は大会開催約２週間前までに、厚生労働省が開発した陽性者との接触を　確認するためのアプリで（COCOA）をインストールし、陽性者との接触が無いか確認することを推奨します。参加者が COCOA によって濃厚接触者と発覚した場合は、感染対策責任者は上記の連絡系統を参照し、連絡してください。事前に配布した「いばらきアマビエちゃん」のＱＲコードにも大会期間は毎日登録をお願いします。

【参考】厚生労働省:新型コロナウイルス接触確認アプリ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

【様式１】

健康チェック表及び参加同意書（個人用）

大会当日選手が責任者へ提出
（チーム保管）

チーム（学校）名			（　男子　・　女子　）
日　付	起床後体温（℃）	症状（息苦しさ、倦怠感、高熱 嗅覚・味覚の異常等）	備考（外出先や接触した人など）
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	
／　（　）	．　℃	あり（　　）　なし	

大会当日に以下の事項の有無の確認の上、「はい・いいえ」どちらかを○で囲んでください。
「はい」が５項目中１項目でもあった場合は、参加を認められません。

□平熱を超える発熱（概ね37度５分以上）がある。	はい　・　いいえ
□咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状がある。	はい　・　いいえ
□だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）がある。	はい　・　いいえ
□嗅覚や味覚の異常がある。	はい　・　いいえ
□体が重く感じる、疲れやすい症状がある。	はい　・　いいえ

参加同意書

本大会の運営方針を確認の上、遵守し参加することに同意いたします。また、大会後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、チーム（学校）を通して主催者に速やかに濃厚接触者の有無を報告いたします。

選手氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印

本同意書はチーム（代表者）が１カ月以上保管すること。　（保護者の自筆または押印）

○本チェックシートは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。個人情報については、来場可　否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。ただし、会場にて感染の疑いがある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。
○本協会の作成した「第73回　毎日・茨城杯　茨城県U14バスケットボール大会 新型コロナウイルス対策ガイドライン」等に沿って、入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも１００%の感染防止を確約することは難しいと思われます。万が一新型コロナウイルスに感染してしまっても、当方は責任を負うことはできない点をご了承ください。

※ 所属する選手全員の体温のチェックをお願いします。部員数が多い場合は、協会ＨＰＵ１５部会から EXCEL ファイルをダウンロードして、ご記入ください。

※ 必ずチーム責任者が管理を行ってください。選手の健康観察と共に毎日行うことが必須となります。

【様式２】

健康チェック表及び参加同意書(提出用)

大会当日責任者が本部(受付)へ提出

記載日　令和　年　月　日		チーム名 (学校名)			（　男子　・　女子　）
	氏　名	当日体温	健康状態	参加同意書	備考
コ　ー　チ		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
Ａ．コ ー チ		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
マネージャー		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
引　率　者		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　２		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　３		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　４		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　５		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　６		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　７		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　８		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　９		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１０		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１１		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１２		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１３		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１４		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１５		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１６		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１７		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１８		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　１９		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　２０		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　２１		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　２２		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　２３		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	
選手　２４		．　℃	良好 ・ 不良	有 ・ 無	

※　健康状態「良好」とは，別紙1「健康チェック表及び参加同意書(個人用)」の8項目のうち，すべて「いいえ」の場合とする。

大会に参加する代表者(監督)，コーチ，選手は，健康上の問題はありません。また，感染拡大予防のための運営方針に従い，大会に参加することに同意します。

代表者氏名　　印

枠が足りない場合はコピーをお願いします。　　(顧問自筆または押印)

○本チェックシートは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。個人情報については、来場可　否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。ただし、会場にて感染の疑いがある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

○本協会の作成した「第73回　毎日・茨城杯　茨城県U14バスケットボール大会　新型コロナウイルス対策ガイドライン」等に沿って、入念な対策で大会運営に臨みますが、それでも100%の感染防止を確約することは難しいと思われます。万が一新型コロナウイルスに感染してしまっても、当方は責任を負うことはできない点をご了承ください。

※　事前に協会ＨＰＵ１５部会からEXCELファイルをダウンロードして、ご記入ください。

大会開催日ごとにチーム責任者は、本部にご提出ください。

７）感染または、感染の疑いがある場合の報告事項

【参加資格】

（１） 選手、チームスタッフは大会２週間前から当日において、以下に該当しないこと。

1　37.5 ℃以上の発熱がある

2　咳(せき)、のどの痛み、などの風邪症状がある

3　だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難が)がある

4　臭覚や味覚の異常がある

5　体が重く感じる、疲れやすい等がある

6　新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある

7　同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

8　過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

※　上記に該当した際は、主催者にて大会参加を取り消す場合があります。各地区感染対策委員にご相談ください。

（２） 「チーム内に感染が疑われる者がいない」そして「試合を行うための選手のコンディションが整っている」の２つの条件が最低限揃うこと。

【その他通知要項】

（１） 大会への出場権を得たチーム・選手は、大会が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。

（２） 各チームの新型コロナウイルス感染対策責任者は、大会当日に健康チェック表兼参加同意書（提出用）を受付で提出し、会場への入場許可をもらうこと（検温結果および健康状態によっては入場をお断りする場合がある）。 感染対策責任者は入場時と退場時に必ず本部に寄ってください。

（３） 「上記【参加資格】の（ １ ）」の事項を含め、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した際は、試合中であったとしても出場資格を取り消す場合がある。

（４） 出場する試合の２週間前からにおいて、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した場合は、その者の来場と試合への出場を不可とする。加えて当該チームのチーム責任者は、前述の体調不良者との濃厚接触者を確認し、大会本部と協議のうえ、非接触者と断定できる選手が５名以上揃わない場合は不戦敗とする。また、体調不良者が発生した後で、保健所等の判断を仰ぐにあたり、その後の大会運営等に大きな支障をきたす場合は大会を中止する場合がある。

（５） 政府や県から新たな措置（緊急事態宣言や自粛要請等）が発出された場合は大会を中止する場合がある。また不可抗力により、出場チームから辞退が発生した際は、男女あわせて４チーム以上（大

会参加チームの10 %）に至った場合のみ、大会主催者にて大会中止を検討し、中止可否を決定後速やかに参加チームに通知する。

※　大会を中止する場合の要件

・緊急事態宣言中

・茨城県バスケットボール協会より実施不可の指示が出た場合

・大会を実施するのに十分な練習期間が保てない場合

・茨城県コロナNextステージ４の場合

8)「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策

・マスクの着用やソーシャル･ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。

・手指消毒液など、試合や練習では広く使用ができるように準備し、頻繁に手洗いを実施する。

・スポーツ施設･用具器具、その他の備品も頻繁に消毒する。

※　バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があるとされていますので、指定ボールメーカーの「お手入れ方法」に従い実施する。

・タオルの共有はしない。

・ボトルのまわし飲みをしない。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。

（１） 諸室

・各部屋に手指消毒液を設置する。

・全てのドア及び窓を開け、３つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。

・座席を設置する際に前後左右1.5ｍ ～間隔を空け、お互いが正面に座らないよう配慮する。

・喫煙所は設けない。

（２） 手洗い場所・トイレ

手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。

・「手洗いは３０秒以上」等の掲示をする。

・布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない。

・手指消毒液を設置する。

（３） 更衣室・ロッカールーム

・広さにはゆとりを持たせ、利用者同士が密になることを避けること。

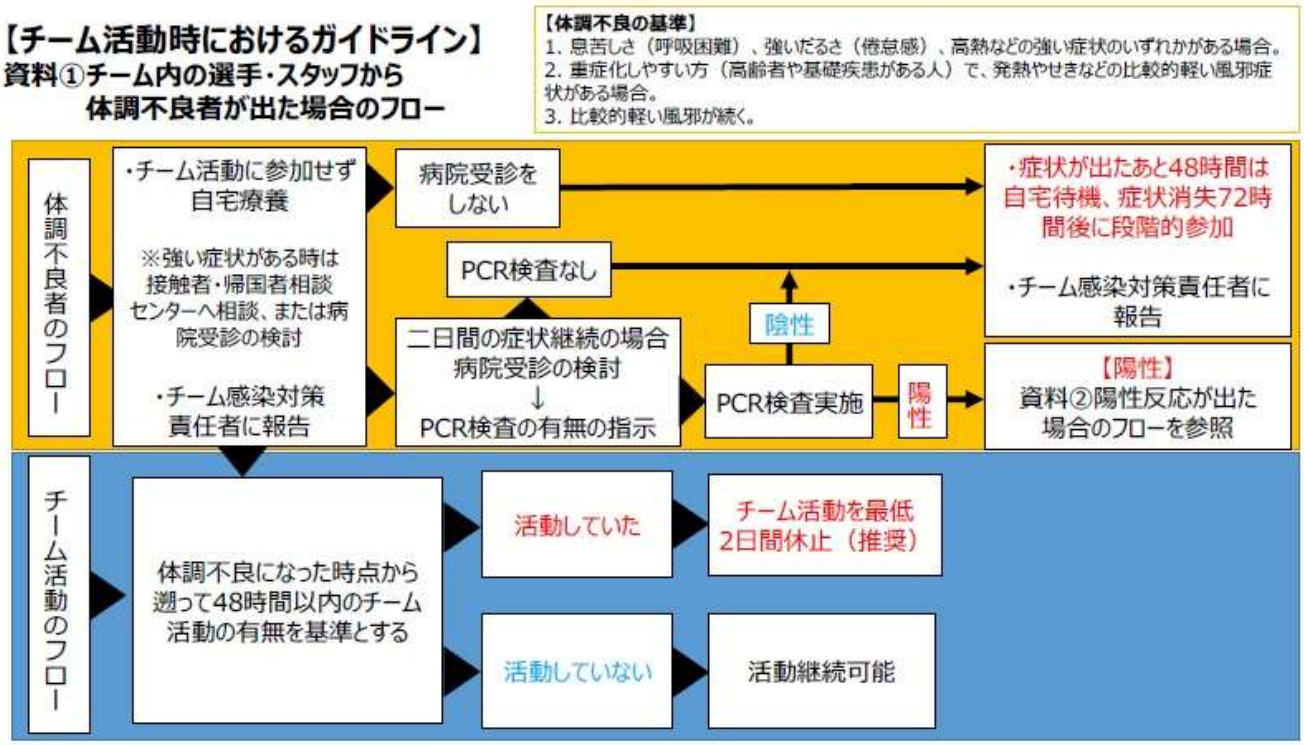
・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する、別室を用意するなどの措置を講じる。

・室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については消毒する。

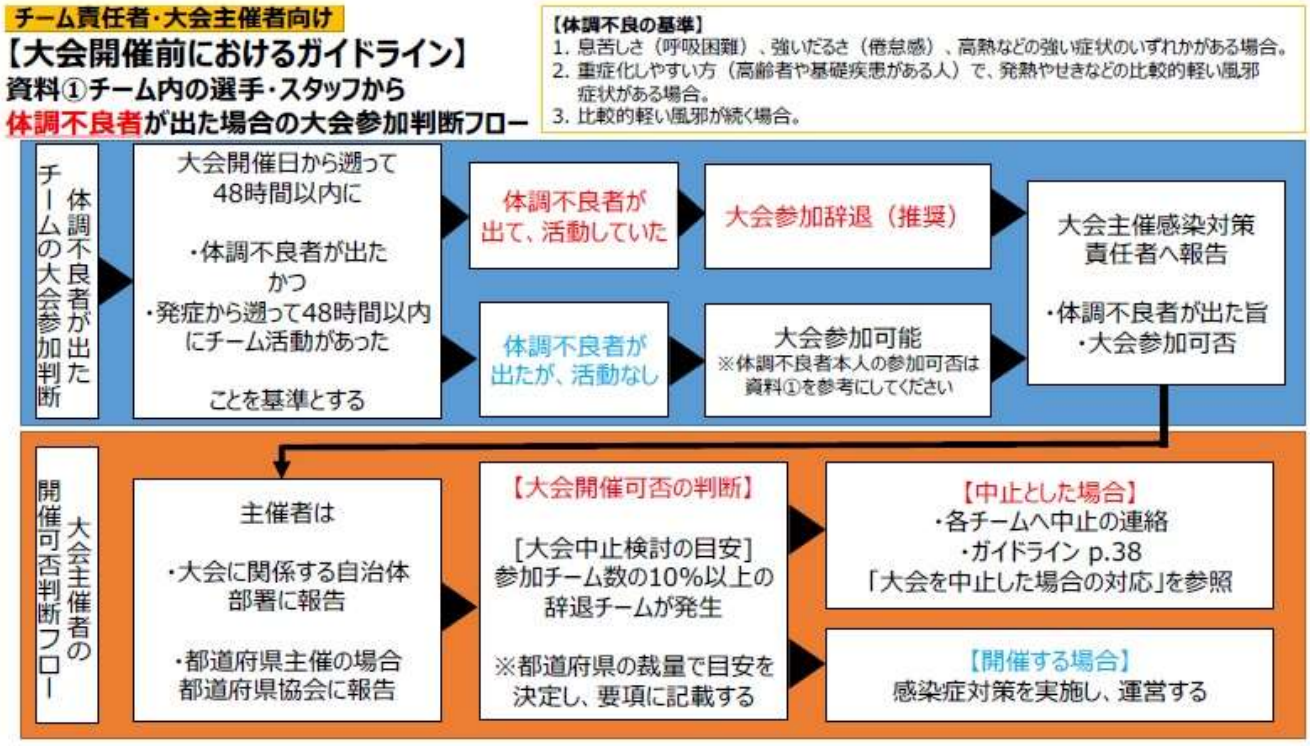
・換気扇を常に回す、２つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行う。

・利用者はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。使用中の会話は控える。

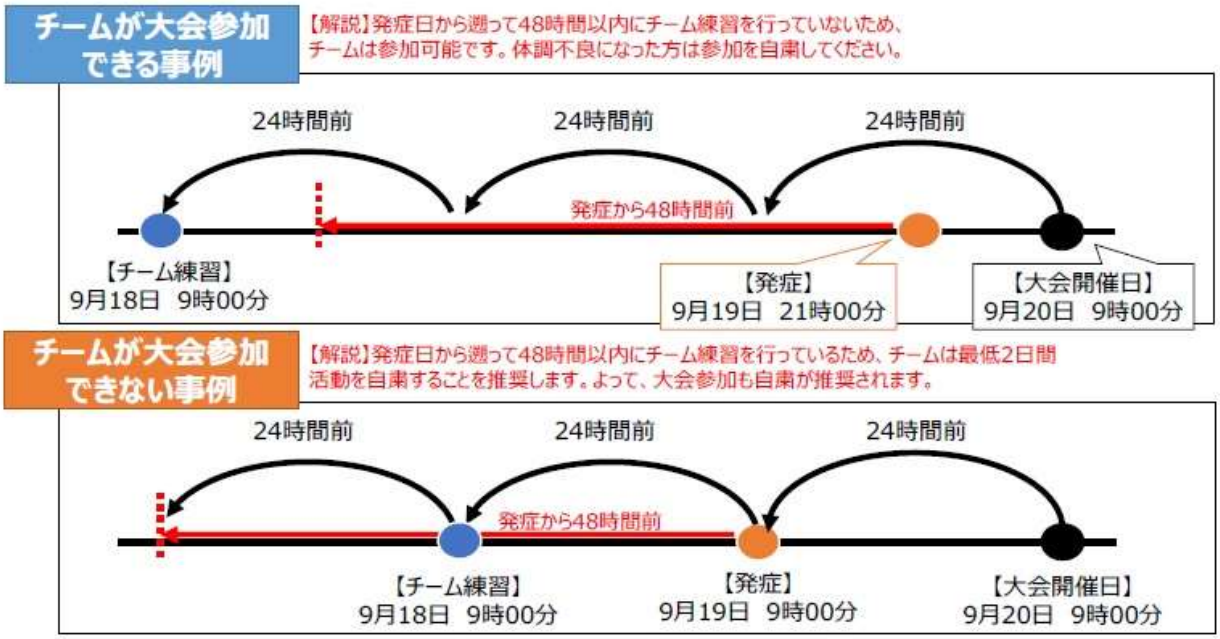
9）陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応



〔参加判断フロー〕



【大会参加可否の事例①　チームから体調不良者が発生した場合）】



（対戦相手の体調不良者が PCR 検査を実施）　→ 結果が出るまでは活動不可

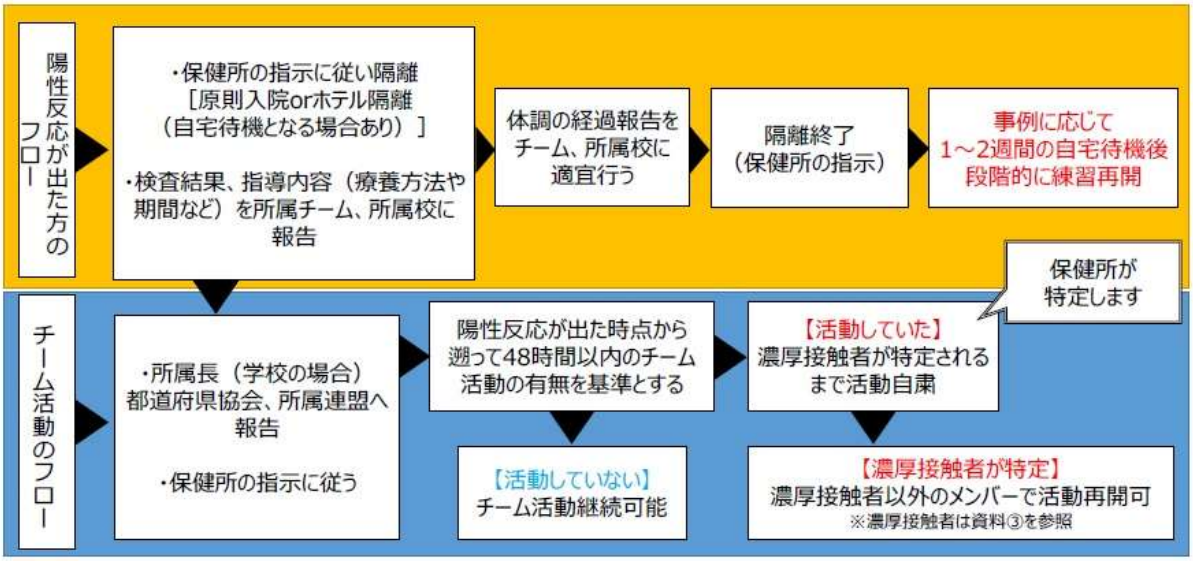
（対戦相手の体調不良者が PCR 検査陰性）　→ 活動可能

（対戦相手の体調不良者が PCR 検査陽性）　→ 活動不可

（対戦相手の体調不良者が PCR 検査実施なし）→ 活動可能

※　PCR 検査の実施の有無に関しては、受診した医療期間の指示に従うこと。

【チーム活動時におけるガイドライン】
資料②チーム内選手・スタッフから陽性反応が出た場合のフロー



チーム責任者・大会主催者向け

【大会開催前におけるガイドライン】

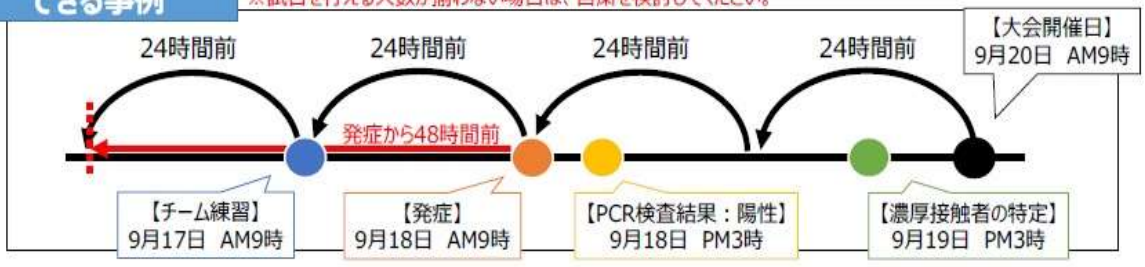
資料②チーム内の選手・スタッフから 陽性者が出た場合の大会参加判断フロー

【大会参加可否の事例② チームから陽性者が出た場合）】

※「検査結果日」ではなく「発症日」を基準としてください。

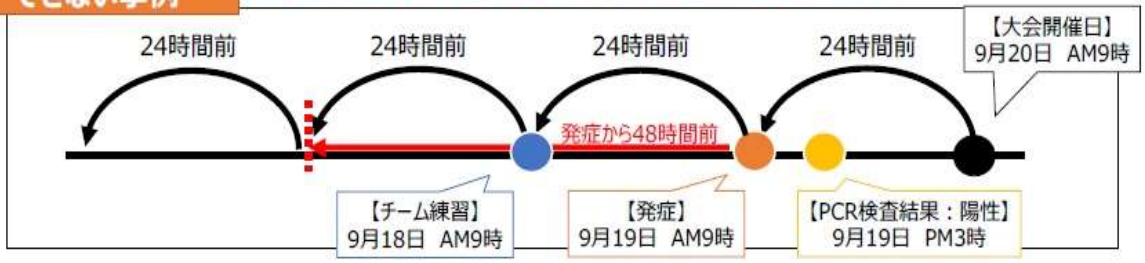
チームが大会参加できる事例

【解説】発症日から遡って48時間以内にチーム練習を行っていましたが、濃厚接触者が特定されたため、陽性者、濃厚接触者以外のメンバーでの大会参加は可能になります。
※試合を行える人数が揃わない場合は、自粛を検討してください。



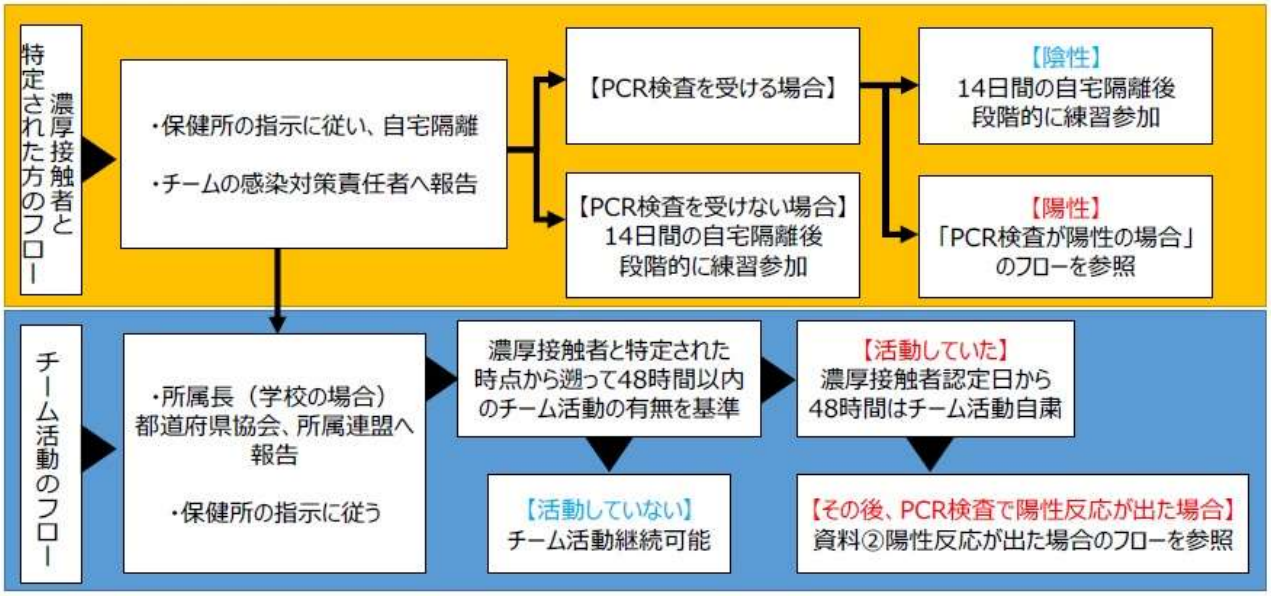
チームが大会参加できない事例

【解説】発症日から遡って48時間以内にチーム練習を行っていました。
また、濃厚接触者が特定されていないため、チームは大会参加を自粛してください。



【チーム活動時におけるガイドライン】

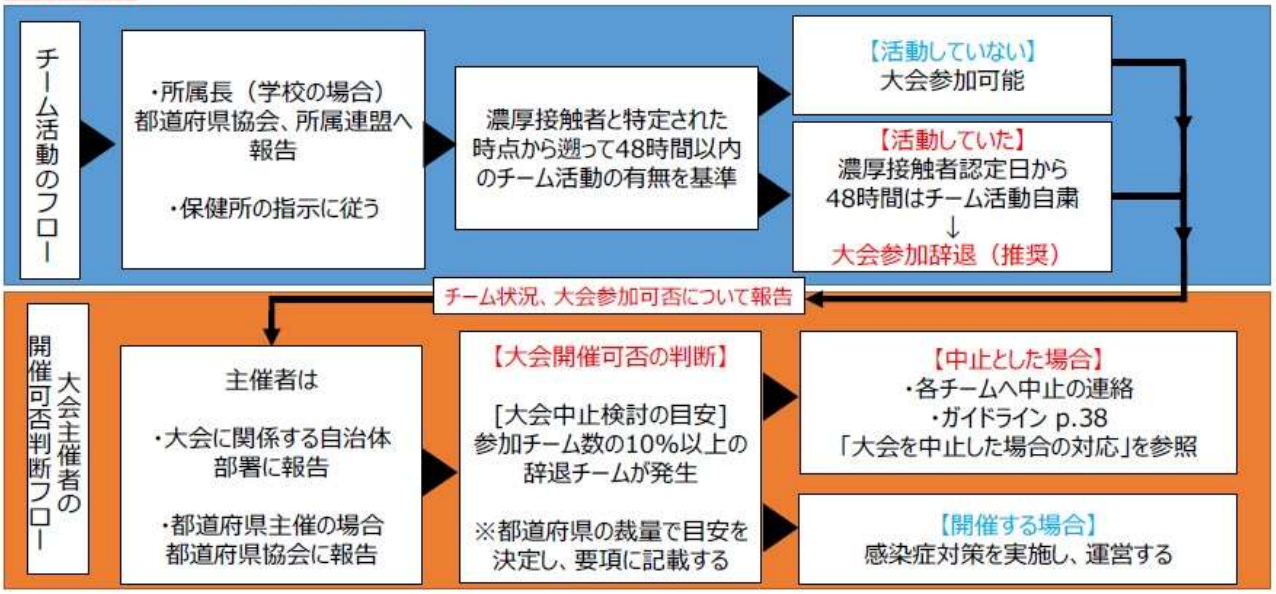
資料③チーム内選手・スタッフから濃厚接触者として特定された場合のフロー



チーム責任者・大会主催者向け

【大会開催前におけるガイドライン】

資料③チーム内の選手・スタッフから
濃厚接触者が出た場合の大会参加判断フロー



【大会参加可否の事例③　チームから濃厚接触者が出た場合】

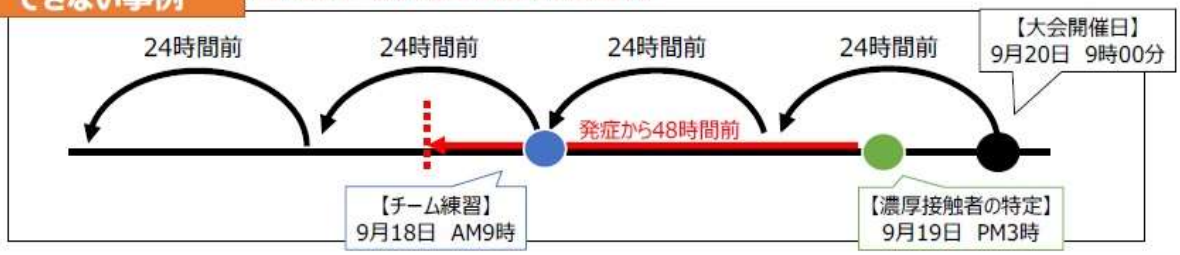
※「検査結果日」ではなく「発症日」を基準としてください。

チームが大会参加できる事例

【解説】特定日から遡って48時間以内にチーム練習を行っていません。
そのため、濃厚接触者以外のメンバーでの大会参加は可能になります。
※試合を行える人数が揃わない場合は、自粛を検討してください。

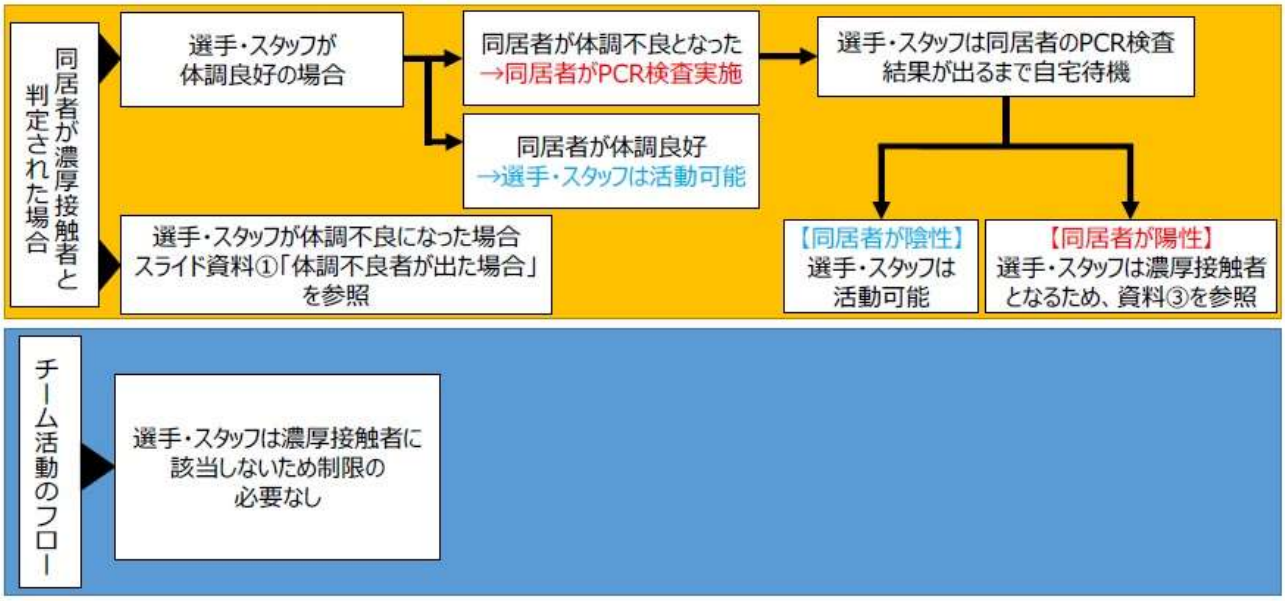
チームが大会参加できない事例

【解説】特定日から遡って48時間以内にチーム練習を行っていました。
この場合、チームは大会参加を自粛してください。



【チーム活動時におけるガイドライン】

資料④チーム内選手・スタッフの同居者が濃厚接触者として特定された場合のフロー



１０）移動・宿泊

（１） 移動

・市町村間での移動の制約が出た場合、学校長に相談のうえ指示に従ってください。

・大会開催前後の移動は最小限にしてください。

・移動の際は、チーム単位、個人単位で予防対策をしてください。

・移動中の会話は極力避けてください。

・移動中、移動後の手指消毒、手指衛生等に気をつけてください。

① 個人での移動について

・公共交通機関を利用しないことが推奨されます。

・自家用車などで移動する場合も、乗り合わせを避け、個人でのアクセスが推奨されます。

・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。

・会場入り時間が重なってしまう場合は、入口での密集状態を避けるために時間差での会場入りを行ってください。

② タクシーでの移動について

・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。

・移動中は出来るだけ窓を開け換気を行ってください。

・極力会話を避けてください。

・乗車前、降車後に手指消毒を行ってください。

③ バスでの移動について

Ⅰ バス会社への依頼事項

・事前の車内消毒

・運転手の体調管理。マスクや手袋の着用。

Ⅱ バス使用時の留意点

・使用するバスのサイズにもよりますが、バス内の人数を減らす（隣り合った座席は１席空けるなど）ため２時間以上などの長時間のバス移動の際には、個人単位でも予防対策をしてください。

Ⅲ その他注意事項

・移動の際は、個人単位で予防対策をしてください。

・移動中は出来るだけ窓を開け換気を行ってください。（1 時間に３回の換気が推奨されています）

・極力会話を避けてください。

・乗車前、降車後に手指消毒を行ってください。

・座席は隣同士での使用を避けてください。(２席横並びの場合、どちらかの席を空ける)

・空調などを使用し、バス内の空気の循環を良くしてください。

・サービスエリア等での休憩時もマスクの着用など感染予防対策を行ってください。

（２） 宿泊

・なるべく大部屋は避け、ソーシャルディスタンスの確保、クラスターの可能性を避ける対策をとってください。

一般客と交わる可能性のある大風呂はなるべく避けてください。

（３） 食事

・会場内での食事はしないことを最優先にしてください。（控室や更衣室含む）

・会場内で食事をせざるを得ない場合は，食事前後の手指衛生，うがい並びに環境整備（換気，椅子，テーブルの消毒）をその都度行い，複数人や対面での食事，食事中の会話を避け，飛沫感染予防に徹底すること。

（４） ミーティング

・基本的に Web 会議などをメインにして、極力対面を避けるように心がけてください。

・対面でのミーティングを行う場合は極力人数を絞り、常に社会的距離(できるだけ２ｍ、最低1m)が取れる広い場所で行い、換気をこまめに行ってください。

・ミーティングを行う際は、出席者全員マスクを着用してください。

１１）大会開催期間中の留意点

・無観客での実施とします。

・新型コロナウイルス感染防止を考慮し、大会前・大会期間中の活動は自校での活動が望ましい。

・「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策を行うと共に、会場内では更衣室、ベンチ等、他のチームも利用する場所の除菌には十分留意してください。

※　ベンチ、更衣室等、使用した箇所の消毒は各チームでお願いします。会場作成の際、使用する可能性のある場所には、すべて消毒液を設置すること。

※　各チームでも消毒を実施しますが、役員も試合ごとにトイレ、更衣室の消毒を実施してください。

・原則として、各チーム１日１ゲームとします。１会場１面展開が望ましいが、２面展開の場合には、会場での滞在時間が長くならないように集合時間等を配慮してください。

・役員もできる限り滞在時間を減らす努力を行ってください。

・会場には前の試合の開始時間から入場できます。ハーフタイムのアップはできません。会場へは前のチームがいなくなってから入ることができます。会場へは試合開始の１時間前に集合してください。それ以前に集合することがないよう十分注意してください。

・試合間を３０分以上に設定し、試合後１０分の消毒、換気の時間を確保します。

・試合前のコート上でのアップは１０分確保します。

・会場の入場時に、チーム責任者は健康チェックシート兼参加承諾書（スタッフ･選手全員分）、体温チェックシートを受付で提出し、入場許可を受けてください。入場許可後は、消毒を行って入場をお願いします。退場時も必ず本部に寄ってからお帰りください。勝ち上がりチームには体温チェックシートを返却します。

・試合が終了したら、速やかに会場を出るように心がけてください。退場時も消毒をお願いします。

・TO は以下のように実施する。前後半での交代はしない。実施時には、マスクを着用すること。準備が可能な場合は、フェイスシールド、手袋を着用すること。コートキーパーに関しては、当該チームで担当する。

〔第１試合〕第２試合の淡色チーム　〔第２試合〕第１試合の負けチーム

〔第３試合〕第４試合の淡色チーム　〔第４試合〕第３試合の負けチーム

※　TO 以外の選手は会場内には入らない。

・マスクはチームまたは個人で持参し、使い捨てマスクの場合、使用後は全てのごみとともにビニール袋に入れて持ち帰ってください。

（参加受付時や、着替え時等のスポーツを行っていない際や、会話をする際にはマスクを着用する）

・消毒用アルコールは主催側でも用意しますが、参加チームでも用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒や、使用用具の消毒を実施してください。

・手拭き用のタオル等は各自持参してください。

・リュック等の荷物はまとめて、ベンチ裏に置くようにしてください。

・会場内での食事はしないでください。
・試合前、試合後に相手チーム、審判との握手･あいさつは実施しません。
・ハドル、円陣を組むこと、ハイタッチ、抱擁はしないでください。
・倒れた選手に手を貸さず、ドクターやスタッフの指示に従ってください。
・ボトル、タオルを共有しないで各自で用意、使用してください。
・ベンチではマスクを着用し、声による応援・会話を控えてください。
・サイドライン／ベンチにおいても適切なソーシャル・ディスタンスを確保してください。
・体調不良者がいた場合は、大会の辞退を促します。（P.8～P.12 参照）チーム責任者は事前に、出場辞退になることもあり得る旨を、選手・保護者に十分説明をしておくこと。
・検温に関しては、徹底してください。

（注）２面展開で大会を実施する場合は、以下のことを徹底すること
・試合間を３０分以上は設定する
・ＴＯは１試合目役員で担当することが望ましい。２試合目以降は負けＴＯとする

〔会場からの感染防止チェックリスト〕

～参加者が遵守すべき事項～

□ 以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせること。

※該当する場合には利用ができない場合があります。

ア. 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

イ. 新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある場合

ウ. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

工. 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

□ マスクを持参すること(受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。)。

□ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

□ 他の利用者、施設管理者スタッフ等との距離(できるだけ２ｍ以上)を確保すること。(障害者の誘導や介助を行う場合を除く。) 口利用中に大きな声で会話、応援等をしないこと。

□ 感染防止のために施設管理者・主催者が定めた措置を遵守すること。

利用終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

□ 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点口十分な距離を確保すること。

□ 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離を空けること(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)。

□ 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること。

□ 走る・歩くイベントにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること。

□ 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと。

□ タオルの共用はしないこと。

□ 飲食については、熱中症等のリスクも踏まえつつ指定場所で行い、周囲の人となるべく距離を取って対面を避けること。また、飲食中の会話は控えめにすること。

【大会委員長】

大塚　篤史（谷田部東）　090-8015-8435

【感染対策責任者】

鈴木　孝一（笠原）　080-3443-8417

【感染対策副責任者】

額賀　浩司（下稲吉）080-1300-4460